

カレッジ里山 花実の森 活動報告(2017年7月-2) 第86号

活動日 2017年 7月 23日(日)	時間 9:30~12:00	天候 ( 晴 )	記録者 ( 菅田 )
------------------------	------------------	-------------	---------------

公募参加者 17家族 56名 スタッフ 13名	(スタッフ) 磯野彰夫 菅田忠志 黒子弊吾 塩ノ谷年子 清水英暢
	俵貴志子 田路義弘 南木久枝 橋野美子 松本治美 山田喜義
	山口俊雄 米倉 進

**親子カブトムシ生育観察会(2017年第2回 成虫観察)**

今回実施した  
内容

親子自然体験型環境学習として企画し、(公財)こうべ市民福祉振興協会の協力を得て公募した 2017 年度『親子カブトムシ生育観察会』、年間を通して里山に棲むカブトムシの生育観察をしながら、里山を知り体験するイベント。今回は 3 回シリーズの 2 回目。  
我々がこの里山で整備活動をする中で発生したチップの山に、この里山に棲むカブトムシが飛来し、産卵・孵化した幼虫を、今年5月に実施した第1回観察会の祭に、子どもたちと一緒に作った「観察用生育場所」に、幼虫の引っ越しをしてもらったが、今回、そこでサナギを経て成虫に育ったカブトムシの掘り起し作業を体験してもらい、家族単位で 2 匹ずつ持ち帰ってもらった。ペアでの飼育をしてもらいたかったが、何故か今年の成虫は、オス 30 匹:メス 1~2 匹の割合だったので、オス 2 匹ずつとなったが子どもたちはむしろ喜んでいた。時間が余れば小枝でのカブトムシクラフトづくりを計画していたが見送りとした。

写真記録



順次受付開始



オリエンテーション



カブトムシの一生おさらい



里山を歩くに際しての注意も



2 班に分かれて  
生育場所へ





今回は5月にみんなでここに幼虫を引越しさせてきた生育場所での成虫探し。しっかり育っているかな？



奥の生育場所は見学のみ 今回の成虫探しはみんなでつくった生育場所と、下のチップの山の中



さあ 探して～ 掘りだして～ 乱暴にして傷つけたらあかんよ。やさしく探すんだよ。  
ムカデもいるので手袋は絶対に脱がないように…。



おったあ～



見つかった～



どんどん見つけ出していく子どもたち



見つかったカブトムシは一旦ケースに入れて運び出す。

元気に動き回るカブトムシたち



今年は家族単位で2匹ずつ持ち帰ってもらえた。



おみやげにもらったカブトムシをじっくり観察する子どもたち。やっぱりカブトムシはみんな好きなんです。



ふりかえりシートを書いてもらい、おしまいのあいさつ「最後までしっかり育てるんやで…」

時間があればとサンプルを準備していたカブトムシ小枝クラフト。時間がなく今回は紹介のみ。

今回、完成間近の【カブトムシ生育観察小屋】を見学してもらった。来年からはここで幼虫からの生育状況を観察してもらいます。



気持ちのよい森林浴をあげてもらいながら観察小屋まで里山散策。



持ち帰った成虫は最後までしっかり育ててよ～

